

岩手 岩泉

龍泉洞



国指定天然記念物

龍泉新洞科学館観光券

¥1,100

一般

おひとり様一回限り有効

岩泉町

龍泉洞・龍泉新洞科学館のあらまし

龍泉洞は、山口県の秋芳洞・高知県の龍河洞とともに日本三大鍾乳洞といわれております。

昭和13年12月14日「岩泉湧窟及びコウモリ」が国指定天然記念物となり、昭和34年龍泉洞と改名して現在にいたっております。

ウサギコウモリなど5種類のコウモリが生息する洞内では、1cm伸びるのに50年要する鍾乳石、100年もかかるといわれる石筍の千変万化の造形美が見られます。世界に類のない透明度を誇る大地底湖は、公開中の第三地底湖で水深98m、非公開の第四地底湖で水深120mあり、大自然が幾万年の間、永々と築きあげた悠久の芸術品です。

洞内の長さは、4,088mまで確認されており、洞口付近からは毎秒1,100～1,500ℓもの地下水が湧き出ています。水温は一年を通じて9℃前後で、洞内温度は10℃前後です。

龍泉新洞科学館は昭和42年10月に発見されるまで長い年月地底に眠りつづけた神秘の宮殿、そこでは鍾乳石や石筍の成長過程を間近でご覧いただけます。

洞内はこれらの自然の造形物との調和を図りながら洞穴学、生物、考古学など、貴重な資料を展示した世界で初めての自然洞穴科学館です。